

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 Facebook で情報発信中！

本市で6年ぶりの横尾忠則特別展が開幕

〔1月6日 岡之山美術館〕

西脇市出身の世界的美術家・横尾忠則さんによる特別展「横尾忠則 西脇幻想展」が始まり、式典で片山市長や公益財団法人西脇市文化・スポーツ振興財団理事長の笹倉教育長ら関係者が、テープカットをして開幕を祝いました。

西脇と現在の風景を重ね合わせた世界をテーマに、初公開の作品を含む絵画やグラフィックなどを展示。横尾さんの幼少期に身近なモチーフであった播州織を杉原紙にすき込んだ新作も並んでいます。会期は3月24日まで。月曜日、2月12日～19日、3月22日は休館（2月11日は開館）。大人500円。



式典後には同館客員キュレーターの山崎均神戸芸術工科大学教授（左）が作品を解説



館内には横尾忠則さんがこれまでに描いた企画展のポスターなど計62作品を展示



市内の各種団体や地域の代表者など約200名が出席

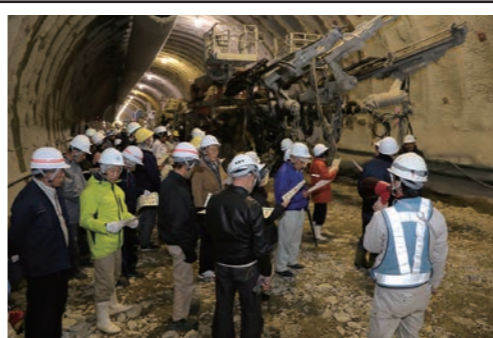
新年の決意新たに

〔1月8日 西脇ロイヤルホテル〕

西脇市と西脇商工会議所は「新年に集う会」を開催し、出席した市内の各種団体や地域の代表者ら約200名が、年始のあいさつを交わしました。片山市長は「新庁舎の建設を控える今年は、新しいまちづくりが始まる年。官民が連携し、皆さんとともに新たな西脇を創っていききたい」とあいさつ。参加者は意見交換を行い、西脇市のさらなる飛躍を誓い合いました。

バイパス開通に期待膨らむ

〔1月12日 黒田庄町津万井〕



「津万井トンネル(仮称)」(延長756メートル)は蒲江と黒田庄町津万井を結び

建設工事中の国道175号西脇北バイパス「津万井トンネル(仮称)」の現場見学会が開かれ、地元住民ら約240名が参加しました。国土交通省職員による工事の概要や工法の説明に続き、施工関係者が掘削に使われるさまざまな建設機械の解説を交えながら、トンネル工事の作業工程などを説明。参加者はトンネル坑内を歩き、バイパスの開通に期待を膨らませました。

子どもたちが書初めて新年の目標をつづる

〔1月12日 生涯学習まちづくりセンター〕



「げんきにすぎず」や「ピアノがじょうずになりたい」などと力強くしたための子どもたち

体験活動を通じてさまざまな年代や地域の方と触れ合う「にしわきジュニアじんけん教室」で、子どもたちが書初めに挑戦しました。教室では書家の森川桂石さんと佃清峰さん、藤原咲子さんが子どもたちを指導。5歳から小学5年までの18名が、自分の手形を押した色紙に新年の目標をつづりました。

約2,500点の絵画や工作などが勢ぞろい

〔1月18日～21日 市民会館〕



市内の小・中学校と北はりま特別支援学校の児童生徒の力作を展示

「第35回西脇市子ども造形作品展」で、子どもたちが創意工夫を凝らして作った造形作品を展示。作品は子どもたちが図工や美術の時間に制作したもので、約2,500点に及びます。小学生テーマ館では、ピサの斜塔など世界各地の建物のほか動物の立体工作が並び、「世界旅行」が表現されました。

「今年は金メダルを狙う」とさらなる活躍を誓う

〔1月9日 西脇市役所〕



障害者スポーツの全国大会で銀メダルを獲得した川根孝之さん（左）と藤浦福己さん

昨年開催された障害者スポーツの全国大会に出場した藤浦福己さんと川根孝之さんが、結果報告のため片山市長を表彰訪問されました。藤浦さんは陸上競技、川根さんは競泳で、第2位の成績を収めています。二人は席上で「今年は金メダルを狙う」と口をそろえ、さらなる活躍を誓いました。

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



地域の皆さんが安心して新年を迎えられるようにと、西脇市消防団が年末警戒を実施。団員の皆さんが地域を回って、パトロールを行いました。（12月28日～30日、市内各所）



西脇高校生活情報科の3年生15名が、図書館に点訳絵本15冊を寄贈しました。平成11年から計204冊の本を寄贈いただいています。（1月17日、茜が丘複合施設みらいえ）



中学3年生の門出を祝う「立春式」に124名が出席。式典は大人への仲間入りを祝った昔の儀式にならったもので、西脇市子ども会指導者連絡協議会が主催。（1月20日、市民会館）



市役所1階の市民ギャラリーで、西脇高校生活情報科3年生が播州織作品を展示。生徒たちはグリム童話をゴシック調の衣装で表現しています。（3月29日まで、西脇市役所）